学校番号	3010

令和5年度 公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高等学校 倫理（第一学習社）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・青年期における自己形成、人間としての在り方生き方について、自分の見方・考えを形成すること。
・日本の思想的伝統と外来思想の受容の歴史について理解した上で、現代に生きる良識ある公民として他者と共に生きる自己の人間形成と社会性の獲得に努めること。
・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を感じる感性を磨くこと。
履修条件
倫理で大学入試を考えている生徒

2 学習の到達目標

・人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して，学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり，他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて，多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	人間としてのあり方生き方	・人間の心と自己形成 ・人間の存在や価値と宗教	a：人間の特質とは何かを理解している。人間がどのように感じ，学び，考え，行動し，発達するかに関して，心の仕組みと成り立ちを理解している。 b：自分の生きている青年期はどのような位置にあり，どのような発達課題があるのかを考えている。 様々な人間の心のあり方を踏まえて，人間とは何かを思索し，他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めている。 c：様々な人間の心のあり方について，科学的に探究した各種の実験や観察，調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり，対話や作文などを通して学習を深めたりしている。	定期考査	定期考査 授業プリント 発言	定期考査 授業プリント 発言
	人間のあり方と社会	・人間の尊厳 ・科学革命の時代と自然観 ・自由で平等な社会の実現 ・人間性の回復と主体性の確立	a：ルネサンス期の思想家やモラリストたちの思索を通して，西洋の近代人は，人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを理解している。 b：現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考察している。 c：ルネサンス期の絵画などから，ルネサンス期の人間観を，主体的に考えている。	定期考査	定期考査 授業プリント 発言	定期考査 授業プリント 発言
2	現代の人間と社会をとらえる思想	１　現代の思想と人間像２ 生命への畏敬と社会参加	a：西洋の思想家やモラリストたちの思索を通して，西洋の近代人は，人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを理解している。 b：現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考察している。 ｃ：ルネサンス期の絵画、略伝や原典資料を活用して，思想家の人生をたどりながら思想内容を主体的に学んでいる。	定期考査	定期考査 授業プリント 発言	定期考査 授業プリント 発言

2	第５章　国際社会に生きる日本人としての自覚	１　日本固有の思想２　外来思想の受容町人思想のめざめと庶民思想４　西洋思想との出会い	日本人の人間観，自然観，宗教観などと，古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。 a：古来の日本人の心情と考え方は，日本の風土で生活する中で育まれたことを理解している。 b：日本人の意識や心情の底流となっている物事の捉え方，望ましい対人関係を考察している。 c：古来の日本人の心情と考え方をもとに，国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観，宗教観などの特質について，主体的に考えている。	定期考査	定期考査 授業プリント 発言	定期考査 授業プリント 発言
3	現代の諸課題と倫理	第１章　自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理第２章　社会と文化にかかわる諸課題と倫理	a：現代の医療、地球環境問題について理解している。 b：生命や地球環境問題について探究した結果を，「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 c：生命や地球環境をめぐって問題となっている事例を収集し，主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント 発言	定期考査 授業プリント 発言

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度